



大野

大野小学校 学校だより
第16号
令和3年12月22日(水)
校長 伊東 敏勝

【教育目標】 ・かしこく ・やさしく ・たくましく

◇ 今年度の重点目標「進んで行動しよう 友だちのよさに学ぼう」 【笑顔あふれる大野小】

今年もあとわずか

本日は冬至、気温も下がり寒い朝となりました。「寒い～」と白い息を吐きながらも子どもたちは元気に集団登校をしています。登校後は運動着に着替えて、ランニングや縄跳びです。半袖の子もいるのは驚きです。そんな四季を感じながら、令和3年も残りわずかとなりました。コロナ、コロナで2年になろうとしています。子どもたちの無邪気な姿にいつも元気をもらっております。やはり子どもは宝ですね。

個別懇談ありがとうございました

先日は年末のご多用の中、個別懇談にお時間を作っていただき誠にありがとうございました。担任とお子さんのことにつきまして情報を共有できましたこと、うれしく思います。また、皆さんからいただいたご意見や情報を職員で共有し、改善すべきことは改善して行くことを話し合ったところです。今後ともよろしくお願いいたします。

縦割り班で遊ぼう



12月1日(水)児童会主催で、「縦割り班で遊ぼう」を行いました。開会式の後、6年生が考えた8つのゲームを5年生が班を引率して、各会場をまわりました。6年生が考えてくれたのは、「ばくだん・

ジェスチャーゲーム」「ボウリングゲーム」「新聞島ゲーム」「いすとりゲーム」「宝探しゲーム」「しっぽ取りゲーム」「絵つなぎリレー」「フォーコーナー」です。

6年生のおかげで、全校みんなで楽しむことができました。閉会式では、低学年生からも「とても楽しかった」という感想がたくさん聞かれました。6年生ありがとうございました。

動くおもちゃまつり



2年生は国語と生活科で作った動くおもちゃで、1年生を招待して、多目的ホールで「うごくおもちゃまつり」を行いました。2年生は、大野祭で使ったはっぴを着て1年生に作ったおもちゃを楽しんでもらいました。

タブレットPCを使って



16日(木)に齋藤誠先生による3年生の体育で、跳び箱の学習をしました。

跳び箱の跳び方を「リプレイカム」というアプリを使って、自分で確認しながらより上手にできるよう練習しました。このアプリは設定した時間後に自動で再生してくれるので、自分のフォームチェックなどに有効です。

リーディングスキルの視点で



17日（金）に安齋先生が、リーディングスキルの視点を取り入れた道徳の研究授業を行いました。資料のなじみの薄い言葉の意味を確認したり、友達の意見と同じかどうかを比べながら、迷う主人公の気持ちを考えました。授業の後、指導主事の先生と職員で研究会を行いました。リーディングスキルについては、今後も市をあげて取り組んでいきます。また県の指定も受けております。

相馬市学カテスト

冬休み開けるとすぐ、1月12日（水）に『相馬市学カテスト』が市内小中学校一斉に行われます。2学期の終わりには過去問を使って練習を行ってきました。初めての1年生は名前や番号の書き方、2年生は初めての問題用紙と別の解答用紙の使い方の練習もしました。毎年中学生は20位までが表彰され、市の広報でも発表されます。小学生は、各教科で満点をとった人が、『満点賞』として相馬市から賞状が贈られます。一人で複数の賞状をもらう人もいます。冬休みの自主学習の目標にして



はどうでしょうか。

親子で取り組むのもいいと思います。

ネット依存の問題

私たちの生活環境は変化し、学習や仕事をするうえでも、インターネットの恩恵をずいぶん受けています。半面、こうした通信環境の発展にともない、ネットやゲームが「手放せない」状況も生まれています。中高生では『ネット依存』が大きな問題となっていますが近年低年齢化し、小学生にもその影響が及んでおり考えていかなければいけないことです。

こんな症状・兆候はありませんか？

◇本人の様子 【聖明病院HPより】

- ・「ネット・ゲームに熱中して眠れなくなった（昼夜逆転してしまった）」
- ・「ネットやゲームのやり過ぎが原因かもしれないってわかっているけど、学校の成績が、以前より落ちてきてしまった」
- ・「以前は趣味や友人づきあいがあったのに、最近はネットやゲームばかりしている。最初は楽しかったのに、今は義務のようにやっているけど止められない」

◇家族から見て

- ・「朝から毎晩遅くまでネットやゲームをしている」
- ・「食事に呼んでもネットやゲームばかりして、部屋から出てこない」
- ・「ネットやゲームについて注意したり、スマホを取り上げるとひどく怒る」

このことにつきましては、「家庭の問題だ」「学校で指導してほしい」などと学校と家庭で言い分が分かれていました。今こそ子どもの未来のために、自分で抑制できる力を身につけさせていかなければならないと考えます。そのためには学校と家庭がともに取り組むべき、課題であると、（年頭ではなく）年末に際して考えるところですよ。



今年もコロナ過で、皆様には特段のご協力をいただきまして感謝申し上げます。来年こそはコロナが終息しますように！